

# 有難う

— 高橋英雄 詩集 —

## 第二号

### 聖なる約束事

令和2年10月19日

五井先生と神界との約束事ほど

有難いものはない。

尊いものはない。

世界平和を祈ろうと思ったら

スイッチオンになって

救世の大光明が輝き

自分が救われるとともに

世界人類の光明化 大調和に

絶大なる力を発揮する

どこで祈ろうと

雑念だらけで祈ろうと

今日はじめて祈ろうと

五井先生と神界との約束事だから

必ず救世の大光明という

大救世主の大光明が輝く。

そして私の潜在意識層と無意識層は

人類の同じ意識層につながっているから

救世の大光明がドツと流れこみ

人類のカルマは大浄化されるのである。

なんと尊いことか。

なんと有難いことか。

年金暮しの九十歳に近い老体は

この世的には何も出来ないが

聖なる約束事によって

救世の大光明を人類に流す大役を果せるのだ

なんと有難いことか

なんと尊いことか

だから

”五井先生有難うございます”

という感謝のコトバは

私の平和の祈りに欠かせない

老若男女の差なく祈る人すべてが

救世主の大聖業に参加出来るのだ

なんと有難いことか

なんと尊いことであるか！

この聖なる約束事に感謝しよう！

個人の業想念など問題ではない

改めて世界平和の祈りを

日々(にちにち)瞬々(しゅんしゅん)

祈っていきこう！



## 得難い存在(Ⅰ)

令和2年10月27日

子供にとって親にその存在価値を認められることほどほめられることほど嬉しいことはありません。子供はほめられることによって認められることによって成長してゆきます。それも絶対なる大親さま救世主霊団の大光明にかけがえのない存在と認められてグーンと成長しました世界平和の祈りと五井先生の称名と神聖復活の印をより真剣に行じみ心に込(こ)た(こ)えたく存じます

## 得難い存在(Ⅳ)

令和2年10月28日

日々の生活は五井先生にお任せし世界人類が平和でありますようにとひたすら祈っている。無心になって祈っている。印を組みつづけている。

私たちの肉体は

神々の使い易い器(うつわ)となった。救世の大光明の器となった。大救世主の光明の一筋一筋となった。五井先生にいのちを捧げ只々祈りつづけて来たことが今 大救世主に認められた。宇宙大天使に認められた。一人一人の存在は闇の中の光となつて輝いているのだ。地球上で光っているのだ。偉大なるかな 私たち二人一人は。私たち自身をほめたたえる。



## 得難い存在(Ⅱ)

令和2年10月28日

白光の友よ！世界平和の祈り人(びと)よ 神人たちよ 世界平和の祈りを祈りつづけて印を組みつづけて来たことによりわれらは神々にとってかけがえのない存在者となった。われらは人類にとってかけがえのない救済者となった。友よ 神人たちよ もろ手をあげて祝え！肩をたたいて称え合おう 世界人類が平和でありますようによろこびは祈りとなり 五井先生 有難うございます 感謝は祈りの波となつてひろがつてゆく

## 光のタネをまこう

令和2年11月10日

光のタネをまこう。平和の樹を植えよう。魂が浄まらなければ 想念(こころ)がきれいにならなければ 戦争はつきることはない。天変地異は諸所に起る。各地で食料をめぐって奪い合いが生じ 各地で水をめぐって争いがおこる。

五井先生と神界との約束事によって 世界人類が平和でありますようにと祈るとそこに必ず救世の大光明が輝き 人類の想念の光明化 地球の大調和に絶大なる働きをする。地球の守護神たちは人類を愛するが故としてつもない長い間忍耐し 人類を見守つて来た。光のタネをまきつづけ 平和の樹を植えつづけて来た先(せん)人たちのあとを引きついで私たちは 世界人類が平和でありますようにと 世界人類が平和でありますようにと 救世の大光明をおろしつづけ

## 得難い存在(Ⅲ)

令和2年10月28日

私たちは無心に祈っている。まことを捧げて祈っている。神聖復活の印を組んでいる。その言行は神々のみ心にかない 私たちは人類の救済者となった。五井先生と神界との約束事の 世界平和の祈りによって 救世の大光明によって 私たちは心から願っていた働きが今や出来るようになった。神々がよろこんでいる。五井先生がよろこんでいる。宇宙大天使たちがよろこんでいる。 私たちもこんなに嬉しく有難いことはない 私たちは感謝のこころで祈る。 私たちは感謝のこころで印を組む。

神聖復活の印を組みつづけ 人の心に光のタネをまき 平和の樹を植えている。 時に己(おの)れの愚かさをおわびし 時に叱咤激励しつつ ひたすらまきつづけ植えつづけている 光のタネがめばえ生長し 地球全土をおおい 花咲かせるまで 平和の樹が生命の大樹に生長するまで 光のタネをまきつづけよう 平和の樹を植えつづけよう 我即神也 ○○○○さん即神也 人類即神也と 神の分霊の神性意識が満ち溢(あふ)れるまで 救世主になりかわつて 唱えつづけ印を組んでいこう。

## 愛する人との再会

令和2年11月11日

## 真向うひた押し

令和2年11月16日

大好きな愛する人と

別れなければならぬことは

悲しくも辛(つら)いことだ。

しかしいこの悲しさ辛(つら)さは

誰でも一度は経験しなければならぬ。

どうしたらの乗(の)りこえられるか？

その辛さ悲しさを

自分のふところに使わず

五井先生に渡してしまおうこと。

世界平和の祈りの大光明に捧げ入れること。

これを必死にやりつつづけるんだ。

愛する人とは五井先生のところへ

また再び会うことが出来るのだから

それまで必死に祈りつつづ

おわたしつづけることだ。

そうすれば

悲しさの欠片(かけら) 辛さの欠片の

一片も残らない清々しい輝いた人間として

愛する人と再会出来る。

五井先生うちにありて生きるなり

祈りとなりて生きるなり

天命となりて生きるなり

われ生きるにあらず

天命が生きるなり

真向うひた押し世界平和の祈り

いのちのあらん限り

力のあらん限り

世界人類が平和でありますようにと祈るなり

五井先生有難うございますと祈るなり

ただただ生きるなり

ただく祈るなり

わが天命を完うせしめ給え

み心のままになさしめ給え

五井先生、ごいせんせーい！

## 編集後記

秋の風情とともに第二号をお届け致します。言葉から受ける感銘、文字の行間から見える絵画のような背景、あふれる情趣…。詩を通して、この季節に相応しいひとときをお過ごし頂ければと思います。

【お詫びと訂正】第一号掲載「業にエネルギーを補給しない」に誤りがありましたのでお詫び申し上げます。《捉われ》と記しておりますが、正しくは《把われ》です。

令和3年10月吉日 O.K

編集発刊 白光真宏会 大阪支部

住所 〒55010002

大阪市西区江戸堀2-7-32

ネオアージュ土佐堀303号

TEL 061644418620

FAX 061644418620

